

令和3年度 大学院医学系研究科博士課程

学位授与時アンケート調査の結果

対象者	13名（学位授与者と単位修得退学者）	22名（学位授与者と単位修得退学者）
回答者	8名	11名
回答率	61.5%	50.0%
実施日	学位授与式当日（令和3年10月1日）	学位授与式当日（令和4年3月10日）

<集計結果>

1. あなた自身について

(人数)

入学年度	人数	性別		社会人入学者ですか		
		男	女	はい	いいえ	未記入
10/1調査	H28年度	2	1	1	2	
	H29年度	4	3	1	2	
	H30年度	1		1	1	
	空白	1	1		1	
	計	8	5	3	3	5
3/10調査	H23年度	1		1	1	
	H28年度	2	1	1	2	
	H30年度	5	1	4	2	3
	空白	3	1	2	2	1
	計	11	3	8	7	4
合計	19	8	11	10	9	

(人数)

入学年度		出身校				未記入
		本学	他の国立大学	公私立大学	その他	
10/1調査	H28年度			2		
	H29年度	1		1	2	
	H30年度				1	
	空白	1				
	計	2		3	3	
3/10調査	H23年度		1			
	H28年度		1	1		
	H30年度	2	1		1	1
	空白	2			1	
	計	4	3	1	2	1
合計		6	3	4	5	1

(人数)

入学年齢	男	女	合計
24歳		2	2
27歳	1		1
29歳		1	1
31歳		2	2
32歳		4	4
34歳	1		1
35歳	1		1
36歳	1		1
37歳	1		1
未記入	3	2	5
合計	8	11	19

専攻系	人数
医学専攻	15
未記入	4
合計	19

2. 本学の教育理念・目標について 何で知りましたか？

知っている	16人	<ul style="list-style-type: none"> * インターネット * ホームページ * 入学説明会の時 * 大学生の時の式典 * From my supervisors and lecturers. * Read from introduction. * By the teachers and friends. 	1人 9人 1人 1人 1人 1人 1人
知らない	3人		

3-1. 教育内容・方法について

(人数)

満足度	カリキュラム				教育方法			
	10/1	3/10	合計		10/1	3/10	合計	
満足している	7	6	13	68.4%	6	6	12	63.2%
まあまあ満足	1	4	5	26.3%	1	4	5	26.3%
やや不満					1		1	5.3%
不満である								
未記入		1	1	5.3%		1	1	5.3%
合計	8	11	19	100.0%	8	11	19	100.0%

カリキュラムについて

満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* 研究に関わる業務や、国内外の研修に参加でき、とても貴重な経験だった。* 授業が有意義であったから。* 将来のキャリアを考える為の材料を提供してもらえたので。* As a graduate students by research, we have to attend some lectures that didn't related to our major to expose us to what kind of reseach are being conducted in the university in necessary amount.
まあまあ満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* 様々な教室でどんな研究が行われているか興味深かった。* I'm not belong to learding program. I never know other, phD student's progeet. Curriculum and knohledge is limiteded.

教育方法について

満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* 主・副指導教員の先生のみならず、多くの先生方がサポートして下さった。* 授業が有意義であったから。* It would be nice to have some interesting lectures given in english. But, in broad-sprectrum perspective, all the education methods used were very satisfied.
まあまあ満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* COVID-19 の流行後、オンライン受講が可能になり遠方に留学中でも授業に参加できた。* コロナ禍の中、Zoom の使用による遠隔授業を利用して頂き、助かりました。* need more comunication between ditlerent department.
やや不満と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* 「勉強のため」という名目で仕事を分配されるが、負担とのバランスが悪い、サポートが不十分。

3-2 教育内容・方法に関する改善案等、忌憚のないご意見をご記入ください。

<ul style="list-style-type: none">* 滋賀医大の院生でありながら 4 年間全期間を学外の研究機関で過ごした。大学までの往復の時間がオンライン移行後は不要になり研究に充てられたので良かった。研究内容が発展し、実験手法や機器の幅を拓げるためには学外との連携も必要だと思う。大学院生が外でも学べるサポートがもっとあればいいと思う。* 最近は海外からの学生さんも多いので、英語の講義は良いと思うが、私には折角の研究が伝わりにくかった。海外から滋賀医大にいらしている先生も多いと思うので、外国人の先生にももっと講義をして頂くようにし、日本人の先生がサポートする形でも良いかと思う。* 授業は社会人大学院生にとっては通学が大変だったので、現状のようなオンライン授業でよいと思う。研究テーマの着眼的やすすめ方のような概論をいくつかのパターン（臨床・疫学・動物など）に分けて最初に示してもらえたら良かった。研究費のとり方、科研費書類の書き方の指導の授業が欲しい。統計の授業は実際に使えるようにもう少し長い時間をかけてでもしっかり教えて欲しかった。* スタッフの不足を解消すべきだと思った。
--

- * From my personal point of view, the university has very clear instruction practices in all academic fields as well as administrative skills. Just a minor insufficiency, due to lack of english communication skills, sometimes we as international atudents get lost in miscommunication and misunderstanding. This problem may not bring a great problem in the future since university already implemented the mandatory Japanese class for all the international students. If I were to consider on all aspects, the on-campus housing should consider the current student capacity before giving a notice to leave the residency in a short time to accommodate new international students in every semester. This will give us enough time to find new house that match our poor budget.
- * Holdl make more discussion in whole torigner students and to accumulate knowledge and premote the corroperation between rtudents.

4-1. 研究指導について

(人数)

満足度	主たる指導教員				その他の指導教員			
	10/1	3/10	合計		10/1	3/10	合計	
満足している	7	6	13	68.4%	6	6	12	63.2%
まあまあ満足	1	3	4	21.1%	1	3	4	21.1%
やや不満								
不満である					1		1	5.3%
未記入		2	2	10.5%		2	2	10.5%
合計	8	11	19	100.0%	8	11	19	100.0%

主たる指導教員について

満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none"> * いつでも相談に乗って頂けた為。 * 細やかな指導をして下さり、論文の書き方などよく理解できた。 * ○○先生及び、○○先生、○○先生には大変お世話になった。 * 社会人学生の私に対して、土日、昼夜を問わず、Webでの相談に対応していただけて感謝している。 * All the professors are so helping in all fields. * My superivisors help me to cheek and discuse my project and experiment date.
まあまあ満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none"> * 論文の相談に乗ってくれた。 * お互いに臨床をやりながら研究をしており、御自身の仕事もある中、適度に関与して下さった。 * 指導教員も多忙の為、なかなか指導に時間を割いていただけないことも多かった為。

その他の指導教員について

満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* 知識面はもちろん、精神面でもとてもサポートして下さった。* 丁寧に指導頂いた為。* 相談しやすい環境だった。* The other advisors also help a lot and friendly.* My advisors will give me rational advice and guidance.
まあまあ満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* お互いに臨床をやりながら研究をしており、御自身の仕事もある中、適度に関与して下さいました。* 指導教員も多忙の為、なかなか指導に時間を割いていただけないことも多かった為。
不満と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none">* 十分なアドバイス（特に建設的な）を受けられなかった。（特に小児科内）

4-2 指導体制および指導方法に関する改善案など、忌憚のないご意見をご記入ください。

<ul style="list-style-type: none">* 学内では研究指導を受けていないので、評価できない。* 研究というと最終的には論文にするのだが、この論文への指導が教室によって大分違う。正直初めてやる作業なので、論文作業をあまり放任されるとつらい。大学の名にもなるなら、論文作成のサポートをする部門ができるとノウハウも大学に残って良いのではないか。* 指導教員の変更が相次ぎ、指導というより相談がメインだった。研究に関する手法やマインドが身に付くような指導、他のグループとの交流による新たな気づきのようなものを生み出せる環境が欲しかった。* 当教室（小児）の指導体制は全く整っておらず、臨床が優先されている。根本的改善が必要である。* 教員の異動が多く、入学時の指導教員が全て入れ替わったのは辛かった。研究の進捗をチェックしてくれる体制が欲しかった。* I just have a thing to stress that all advisors should refrain from sharing excessive personal information and thoughts to maintain a fine line between teachers and students. I noticed that some students might cross the line by exhibiting disrespectful attitudes towards the advisors.* I would like to convey my gratitude to all professors. They are great, enthusiastic professors I've ever had. However I think all of sensei thought PhD is only our destination, so they just concentrate helping us with one paper. But we need an enriched profile with more publications for future post-doc positions.* Hold more efficient lecture to guide young researchers for writing and making presentations.
--

5. 学生生活について

(1) 学費および生活費等について (複数回答あり)

(人数)

	10/1	3/10	合計	
授業料免除	1	3	4	21.1%
奨学金	2	5	7	36.8%
TA・RA	3	4	7	36.8%
自身の本務	4	5	9	47.4%
アルバイト	1	1	2	10.5%
家族からの援助		1	1	5.3%
その他				
未記入	1	1	2	10.5%
合計	12	20	32	

注) 割合は、回答者数 19 名を母数として算出した。

大学に期待する経済支援について、忌憚のないご意見等をご記入ください。

感想等
<ul style="list-style-type: none"> * 社会人入学では十分な研究時間の捻出は不可能。 * 授業料を減免していただけたおかげで、アルバイトで生活費をかせぐだけで済み、研究により多くの時間をさけた。大学院生で応募できる奨学金、研究助成金の紹介や申請書、採用実績の管理継承もあればいいなと思った。 * 医師ではある分、お金にはあまり困っていないのだが、医師でない院生はかなり経済的に困るのではないかと思う。奨学金やアルバイトなど考慮頂けると良い。(特に海外の学生は英語に堪能な方が多い印象があり、論文作成のサポートをして頂けたらどうだろうか?) * scholarship * I have a very stable financial supports from the scholarship and university all through my 4years in school.

(2) TAまたはRAについて

(人数)

	10/1	3/10	合計	
TAのみを経験		1	1	5.3%
RAのみを経験				
両方を経験	4	4	8	42.1%
両方を未経験	4	6	10	52.6%
未記入				
合計	8	11	19	100.0%

経験した感想は？また、その経験は、現在のあなたの活動に役だっていますか。

感想等
<ul style="list-style-type: none"> * 研究業務や学生指導など。とても役立っている。 * 研究の現場を経験できたという点で、役立っている。 * 多くの経験ができた事はとても学びになった。 * TA/RA support are very helpful throughout the years. They helped me to maintain my life and supporting the other expenses which help to reduce tension in thinking about financial problem. * When our stipend was terminated, TA & RA were very helpful. * I could learn more and do more work on my study and help to serve other researchers. It is good experience.

(3) 学生生活全般について

(人数)

	10/1	3/10	合計	
満足している	4	4	8	42.1%
まあまあ満足	3	6	9	47.4%
やや不満	1	1	2	10.5%
不満である				
未記入				
合計	8	11	19	100.0%

学生生活全般について

満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none"> * 貴重な“人”との出会いがたくさんあり、感謝している。 * 自分のペースで研究を行うことができた為。 * 名古屋からの通学であり、職員会館を利用させていただくことも多くあった。大変助かった。欲を言えば、もう少し新しいと嬉しい。 * I was extremely satisfied during my student life in SUMS. I came to SUMS with very limited ideas of what my research was back during my Masters' program. I was trained and guided thoroughly about my research in SUMS as well as learnt the necessary things to do to be a researcher. I was and will always be grateful to all my advisors.
まあまあ満足と回答した者が記載した理由
<ul style="list-style-type: none"> * 医学に限らず、色々な経験ができた。 * 書類の提出他大学に行かなければならないことをオンラインでできるようにしてほしい。住所変更等の書類を提出しても変更処理がされず、旧住所にしばらく届いていた。事務の方の業務軽減をはかってほしい。 * 研究や学問的なことにはあまり寄与しなかったが、研究日を自分の都合に合わせて使えた

ので、家庭の様々な問題の解決には役立った。

- * I did not know more professors and excellent researchers.
- * Please inform the next students, should prepare Japanese (daily conversation) Life will be easier by we can speak Japanese.

やや不満と回答した者が記載した理由

- * 良い指導教員に出会えたことは満足しているが、やはり社会人として臨床を休みなくフルでこなしながらの院生では研究にあてられる時間の捻出ができなく、自分の時間（特に睡眠）をけずるしかなかった。
- * 途中まで社会人だったので仕事との両立の難しさやコロナの影響で研究が思うように進まなかったため。

6-1. 施設・設備について（利用状況、満足度およびその理由をご記入ください。）

(人数)

施設	利用状況	10/1	3/10	合計	満足度	10/1	3/10	合計
研究室	よく利用した	5	8	13	満足している	6	5	11
	時々利用した		1	1	まあまあ満足		3	3
	利用したことがない	3	2	5	やや不満 不満である		1	1
	未記入				未記入	2	2	4
図書館	よく利用した	1	3	4	満足している	6	7	13
	時々利用した	6	6	12	まあまあ満足	2	2	4
	利用したことがない	1	2	3	やや不満 不満である			
	未記入				未記入		2	2
実験実習 センター 支援	よく利用した	3	2	5	満足している	4	2	6
	時々利用した		3	3	まあまあ満足		3	3
	利用したことがない	5	6	11	やや不満 不満である			
	未記入				未記入	4	6	10
R I セ ン タ ー	よく利用した	1		1	満足している	2	1	3
	時々利用した				まあまあ満足			
	利用したことがない	7	11	18	やや不満 不満である			
	未記入				未記入	6	10	16
研 動 究 物 セ 生 ン 命 タ 科 ー 学	よく利用した	2	4	6	満足している	3	3	6
	時々利用した	1		1	まあまあ満足	1	2	3
	利用したことがない	5	7	12	やや不満 不満である			
	未記入				未記入	4	6	10
附 属 病 院	よく利用した	3	3	6	満足している	5	3	8
	時々利用した	4	4	8	まあまあ満足	3	1	4
	利用したことがない	1	4	5	やや不満 不満である		1	1
	未記入				未記入		6	6

施設名	満足と回答した者が記載した理由
研究室	<ul style="list-style-type: none"> * 事務スタッフさんのサポートが厚かった。 * 親切に丁寧に指導していただいた為。 * Our laboratory has most of the equipments I ever needed.
動物生命科学 研究センター	<ul style="list-style-type: none"> * 動物実験について親身に対応いただいた。
図書館	<ul style="list-style-type: none"> * とても親切。助かった。
施設名	まあまあ満足と回答した者が記載した理由
実験実習支援 センター	<ul style="list-style-type: none"> * 支援員の方が丁寧に教えて対応して下さったので。説明会はあったもののどのような装置があるのかの把握や研究室でこれまで利用していない機械の利用のハードルは高かった。
動物生命科学 研究センター	<ul style="list-style-type: none"> * 職員の方に教えていただけたり、個々の動物のケアをしていただいたり助かった。
施設名	やや不満と回答した者が記載した理由
研究室	<ul style="list-style-type: none"> * 広さもあり、複数人での利用にも耐えるものだった。医局で整備されていなかったり、使い方を指導できないものが多いのは残念だった。
附属病院	<ul style="list-style-type: none"> * コロナで臨床研究が思うように進まなかった。

7. 進路について

(1) 大学院修了時の進路（予定）および選択理由（複数回答あり）

(人数)

進路	10/1	3/10	合計		
医療者	開業				
	勤務者	4	5	9	47.4%
	不明	2		2	10.5%
教育者		3	3	15.8%	
研究者	3	5	8	42.1%	
行政					
その他	2		2	10.5%	
合計	11	13	24		

注) 割合は回答者数 19 名を母数として算出した。

進路	進路選択の理由
医療者 (勤務者)	<ul style="list-style-type: none"> * 自分の診療科の経験をさらに重ねていく為。 * 私がそもそも医師でありたいと思っているから。 * 今回の経験を踏まえて、臨床に力を入れていきたいと考えた為。 * 医局からの指示

研究者	<ul style="list-style-type: none"> * 大学で科研費を使用した研究を継続する為。 * 基礎研究をもっと進めたいと思ったから。 * I like do experiments that is passion on. * I am always want to be a researcher to discover more novel findings and improve our medical treatments.
教育者	<ul style="list-style-type: none"> * 社会人なので継続。
その他	<ul style="list-style-type: none"> * 研究や現場での業務、様々なところに携わりたいから。 * 領域横断的な仕事がしたいと思うようになったから。

(2) 進路の選択および決定に際し、大学（指導教員等）の支援を受けましたか。

(人数)

	10/1	3/8	合計	
受けた	3	3	6	31.6%
受けていない	5	7	12	63.2%
未記入		1	1	5.3%
合計	8	11	19	100.0%

	支援内容
受けた	* Give my recommendation.

(3) 進路決定時に欲しい情報は何か。

* Where are the geed information for emply post doctor.

8. その他

卒後臨床研修制度の改革等に伴う、医師不足や特定診療科への医師数の偏在、保険診療上の看護体制の見直しに伴う、慢性的な看護師不足といった問題により、現在は、大学院への進学率が著しく低下し、また、職業をもった社会人が大学院学生の大半を占めています。

このような現状を踏まえて、今後の大学運営（特に大学院教育）について、本学が留意すべき点は何かとお考えですか。忌憚のないご意見をお願いします。

- * 進学率の低下につきましては、医療人の人数不足に伴って日常業務に追われている為、社会人入学という形であったとしても参加することが難しいことから大学院入学のハードルは依然として高いと思われる。1つ方法としては、授業や課題をリモート形式で行うことが挙げられる。医療安全講習のように、動画を最後まで見る必要があり、最後に確認テストなどを設ければ、業務時間外でも、医局人事で大学から距離が離れても参加が可能になると思う。
- * 社会人が多い事は問題とは思わない。大学院生が居なければ回らない教室運営がどの大学でも問題である気がする。それによって大学院に入るハードルが上がる。在学中は少なくとも自身の研究の方に専念でき、余裕があれば教室の仕事を分担するのが望ましいと思う。
- * 教育者、受ける者、支援する人々皆のためにオンラインを基本として仕事と研究どちらにも貢献しない時間を減らすようにしてほしい。小さい大学であるというだけでなく、今や研究で求められる内容やデータ量も増えており、世界でたたかうには他機関ともっと連携していく時代だと思う。大学院生の頃から「研究はワイドにみんなでやるもの」というスタンスを身につければ、臨床に戻っても、研究を続けられると思うので、大学として共同研究や留学を支援してほしい。大学で研究をするにあたり、4年間臨床との両立は忙しいし、実験内容に制限があると思う。京大のように1年や2年は臨床と両方やるにしても研究に専従できる期間をとれるようにしてほしい。
- * まず、大学に入る目的が医師には一般に不明確なのでは？研究室にもよると思うが、医師も看護師も実学なので、臨床に役立つ事を学びたいと思うが、研究をしたい人ではないと思う。（研究したいならば、他の学部に行っている。少なくとも研究を目的に医学部に入る人は少数派である。）大学院が研究をする場所ならば、門戸を医師ではなく、他学部の研究者に開き、彼らが安心して研究し、業績を上げられるように経済的なサポート体制を作るべき。他学部の多くの若い研究者は生活に必要な費用がサポートされるなら、自身の進路に関わるので、毎日必死に研究する。臨床研究はある意味、医師にしかできず、日常臨床に疑問に思う課題からスタートする。大学院はこういう臨床研究を統括し、サポートしてくれるならば医師としてありがたい。臨床研究のノウハウやサポートならば意欲のある医師が欲しているものであり、それこそが大学院に望まれているものではないだろうか？
- * 医大ならではの研究力。学生課の職員様にはお世話になった。ていねいに対応していただき、御礼申し上げます。
- * make a presentation to let more people know the situation. let the students know what they could learn and get or achieve. do more questionnaire and to know what kinds of things students come and want to do.

- * To boost the graduate students shortage among the physicians and nurses, the university can take a structured approach such as inventing seminars to help them keep up with the demand for medical services and providing support network. The workshops in introducing the purpose and benefits of furthering into graduate school as a platform to encourage students into understanding the medical field education is a lifelong learning process that will improve one's skills, competencies, quality and management in their careers. Some training programs are much needed to develop and produce medical background students into biomedical researchers and lead the research in the future with deep understanding beyond the conventional clinical sciences. This will provide advances in both medical and research fields.
- * I think SUMS should open the undergraduate program not only for Japanese students but also for international students. Due to globalise & internationalise, SUMS may be find some genius student from developing countries.
- * I think the doctors are very cordial and trying their best to serve the hospital and research side by side. Hospital can consider to recruit more clinician so that doctors could give more effort with research.